

令和4年度第1回 お城を中心としたまちづくり懇話会 会議録【概要版】

日時：令和4年7月20日（水） 9:30～11:00

場所：勤労福祉会館 3階 研修室兼展示室

出席者

氏名		役職名等	
倉原宗孝	出	岩手県立大学総合政策学部教授	学識経験者
斎藤純	出	石神の丘美術館美術監督、作家	岩手公園開園100周年記念事業関連
坂本広行	出	宗教法人 櫻山神社 宮司	櫻山地区歴史
下玉利元一	出	盛岡城いしがき文化祭推進フォーラム代表	市民まちづくり団体
高橋智	欠	文化地層研究会 代表	歴史・文化
佐々木祐輔	出	内丸第二町内会 会長	地域住民
大和田祐輔	欠	一般社団法人盛岡青年会議所 理事長	商工・観光
工藤昌代	出	盛岡商工会議所女性会 理事	商工・観光
割船活彦	出	盛岡市教育委員会教育部長 代理出席 歴史文化課 課長	
小笠原裕光	出	盛岡市都市整備部長	

■事務局

公園みどり課：富樫課長、美濃部課長補佐、齊藤計画係長、佐々木文化財主査、宮田技師、鈴木主事

配布資料

■次第

■懇話会委員名簿

■懇話会設置要領

■議題説明資料

資料1（PowerPoint スライド印刷資料）

資料2（「お城を中心としたまちづくり計画 新旧比較表」）

資料3（前回の懇話会（R4.2.18）の意見と対応）

## 要 旨

### 意見交換

#### ○お城を中心としたまちづくり計画の見直しについて

- 都市整備なので空間的な意味で中心という意味もあるが、空間とは違う中心は何かという視点を計画の中のポイントで盛り込むことが必要。
- 内丸地区将来ビジョンもあるので、やはりあの周辺を特化して充実させていく方が効果的ではないか。
- 桜山参道地区は大事な場所なので、もう一度検討する機会を設けてほしい。
- 単純に昔のように線を引くだけでなく、範囲の概念を一言付け加えてほしい。
- 目指す将来像や方向性については、現段階では提案のとおりで構わない。
- 行政主体の計画が中心となっているが、民間・市民・行政が一体となって進めるということ掲げる必要がある。

### 報告事項

#### ○史跡盛岡城跡保存整備事業の実施状況について

- 石垣修復工事現場で向かい鶴の旗を立てており、見るだけで歴史を調べたくなる。そのような発想力に感心した。

#### ○内丸地区将来ビジョンの策定について

- お城を中心としたまちづくりの核をなすのは市役所などの行政府なので、市役所には内丸に残してほしい。
- 関係人口と交流人口の定義があいまいなので、明確にしてほしい。

#### ○お城周辺のイベントについて

- 公共空間などを利用できるのに、間に立つ人が見えない。民間と行政が一体になって、作り上げるものが少ないように思う。